

アラウンド GOGO 55



三男と一緒に

天国の丈へ

阿部直俊

「大会はイベントじやないんだ、青森の財産なんだ」
り聞いてくれよ。

丈（たけ）ちゃん、向こうの暮らしへどうだい？ 5月の連休明けにサクラ満開なんて、おまえが死んでからの津

軽はずいぶんと春が遅いなあ。まもなく田んぼに水が入る季節、丈の三回忌を迎えるつていうのに…。

を始め、青森支部や東北各支部が、みんなでやれるだけのことをして大会を迎えるようつて誓っているんだ。

思えば2年半前。支部の運営委員会で「全国大会をやろうなんてどう考へても無理！」という多數意見に、おまえが一人真っ向から異議を唱えたんだ。「今やらなくて、いつできる！」と。「青森で、全国の実践が学べるんだぞ！」つて。

やうんてどう考へても無理！」といふと、おまえが一人真っ向から異議を唱えたんだ。「今やらなくて、いつできる！」と。「青森で、全国の実践が学べるんだぞ！」つて。

（青森支部事務局長）
は弘前の武道館へ、11日は丈の母校弘前大学へ、必ず立ち寄つて、夢の大会の成功を応援してくれ。

「ありがとうございます、丈。

（50歳の節目の年に

かつているだろう…。この夏、いよいよ青森で全国大会が開催になるぞ！まさか、東北の地方都市で全国大会が開けるなんて思いもよらなかつたよ。大会が行われる現地弘前

運営ができなくとも、巨大なステージがなくても、今青森でできる心がこもつたあつかい大会を作ろうつて。

それなのに…。大震災というとんでもなく大きな悲しみがあつた2ヶ月後だつた。おまえは、ある朝急に逝つてしまつた。家族や仲間に何一つ

（青森支部事務局長）
は弘前の武道館へ、11日は丈の母校弘前大学へ、必ず立ち寄つて、夢の大会の成功を応援してくれ。

「ありがとうございます、丈。

（50歳の節目の年に

大会が終わつたら、岩木山のふもと（森田村）に墓参りに行くから、この2年間の積もる話をゆつくりとしようや。一番気にかけていた家族

（青森支部事務局長）
*故田中丈晴さん。青森支部事務局（当時）、2011年5月21日、脳出血にて逝去。享年46歳。